

参考資料

■参考1：復興まちづくり計画の策定経過と、復興まちづくり検討委員会について

(1) 復興まちづくり計画の策定経過

- ・平成24年7月11日 第1回 復興まちづくり検討委員会
- ・平成24年8月17日 第2回 復興まちづくり検討委員会
- ・平成24年11月27日 第3回 復興まちづくり検討委員会
- ・平成25年1月9日～28日 パブリックコメントの実施
- ・平成25年2月8日 第4回 復興まちづくり検討委員会

(2) 復興まちづくり検討委員会委員

NO	氏名	役職	備考
1	三村信男	茨城大学教授	学識経験者
2	伊藤哲司	茨城大学教授	学識経験者
3	田山東湖	大洗町商工会長（茨城県議会議員）	
4	石井藤一郎	大洗観光協会会長	
5	飛田正美	大洗町漁業協同組合長	
6	小野瀬 優	大洗町民生委員児童委員協議会長	
7	田山勝造	寺釜自主防災会長	
8	仲田眞由美	大洗町 PTA 連絡協議会長	
9	坂本恭子	女性ネットワーク委員会 代表	
10	菅野孝一	大洗青年団体連絡協議会長	
11	足立正俊	大洗サーフライフセービングクラブ 代表	
12	飯島一敬	元 NPO 大洗海の大学 代表理事	
13	神谷昌文	国土交通省 関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所長	
14	小野寺誠一	茨城県土木部長	
15	小谷隆亮	大洗町長	
16	小野瀬義之	大洗町議会議長	
	オブザーバー	県) 港湾課、河川課、公園街路課、都市計画課、 水戸土木事務所、大洗港区事業所 町) 都市建設課、生活環境課、商工観光課、 農林水産課、総務課	
	事務局	まちづくり推進課	

■参考2：地区別のまちづくり計画（磯浜地区／大貫地区）

（1）磯浜地区

①防災減災の方針

■防護ラインの設定（L1 津波への対応）

- ・北部海岸…既存の海岸保全施設（高さ 6.5m 以上）で対応
- ・大洗港周辺…県道 2 号沿いの松林の保全

■避難場所の整備

（一時避難施設）

- ・大洗キャンプ場…約 8,230 人を収容
- ・磯道地区避難所…約 7,000 人を収容
- ・復興拠点施設①（東光台）…浸水区域にある消防第一分団を移転。地域広場の整備により約 250 人を一時的に収容
- ・大洗駅舎（または駅前広場）…大洗駅の施設再配置により、約 2,360 人を一時的に収容
- ・復興拠点施設②…旧亀宋跡地を活用し、防災教育拠点として整備
- ・災害活動拠点施設…浸水被害のない高台へ整備。五反田地区（新設）等

（緊急避難場所）

- ・津波避難デッキ等の整備により、海岸利用者が一時的に避難できる安全な場所を確保
→宮下地区旅館街ビーチイン跡地
- ・アウトレット周辺における津波避難ビルの検討

■避難路の整備

（マリンタワー、ゆっくら健康館、アウトレットへの対応）

- ・[都]駅前海岸線…新規整備、代表幅員：18m 【歩行避難者用】
- ・[都]若見屋平戸線…既存路線の拡幅整備、代表幅員：16m 【緊急車両と歩行者避難用】

（漁港区周辺、めんたいパーク、フェリーターミナルへの対応）

- ・[都]曲松祝町線…既存路線の拡幅および新規整備、代表幅員：16m

（五反田地区の河川遡上への対応）

- ・[都]関根祝町線…新規整備、代表幅員：16m
- ・[都]吉沼磯浜線…新規整備、代表幅員：13m

■避難誘導サイン、避難誘導灯の整備

■津波避難ビルの指定の検討

（候補）

宮下地区のホテル・旅館、観光施設など

②土地利用の方針

■津波浸水想定区域における適正な土地利用の誘導

- ・津波浸水想定区域については、建物の耐震化等を誘導
- ・特に住宅地については、津波による人的災害を防止するために、高層化を図るなどにより、低層部はなるべく住居としないよう誘導
 - 低層部を商業、上層部を住宅

■高台等における新たな土地利用の展開

- ・二葉地区において住環境を整備し、移住を促進

③都市機能の方針

■災害拠点施設の整備

- ・消防第一分団を磯浜地区に再配置し、復興拠点施設として位置付け
- ・消防第二分団、第三分団、第五分団、第六分団については現時点での移転は行わないが、将来的には再配置を検討
- ・役場および消防署の建築物の耐震化や非常用電源の設置場所の工夫 等
 - 中長期的には、浸水の危険性のより低い場所への誘導を推進
- ・役場の防災機能を、バックアップとして高台に一部機能を移転
 - （候補地）①旧水道事務所（第一中学校付近）、②旧祝町小学校跡地（二葉地区）

■産業拠点等の形成

- ・中心拠点
 - 防災減災施設の整備、災害拠点施設の整備、生活サービス施設の集積 等
- ・産業・業務拠点（港湾周辺地区）
 - 産業基盤の振興と再生、防災減災施設の整備、観光誘客対策の強化 等
- ・観光レクリエーション拠点（アウトレット周辺地区、北部海岸）
 - 防災減災施設の整備、観光誘客対策の強化 等

■ネットワーク道路の整備

- ・[都]吉沼磯浜線…水戸市と大洗町を接続

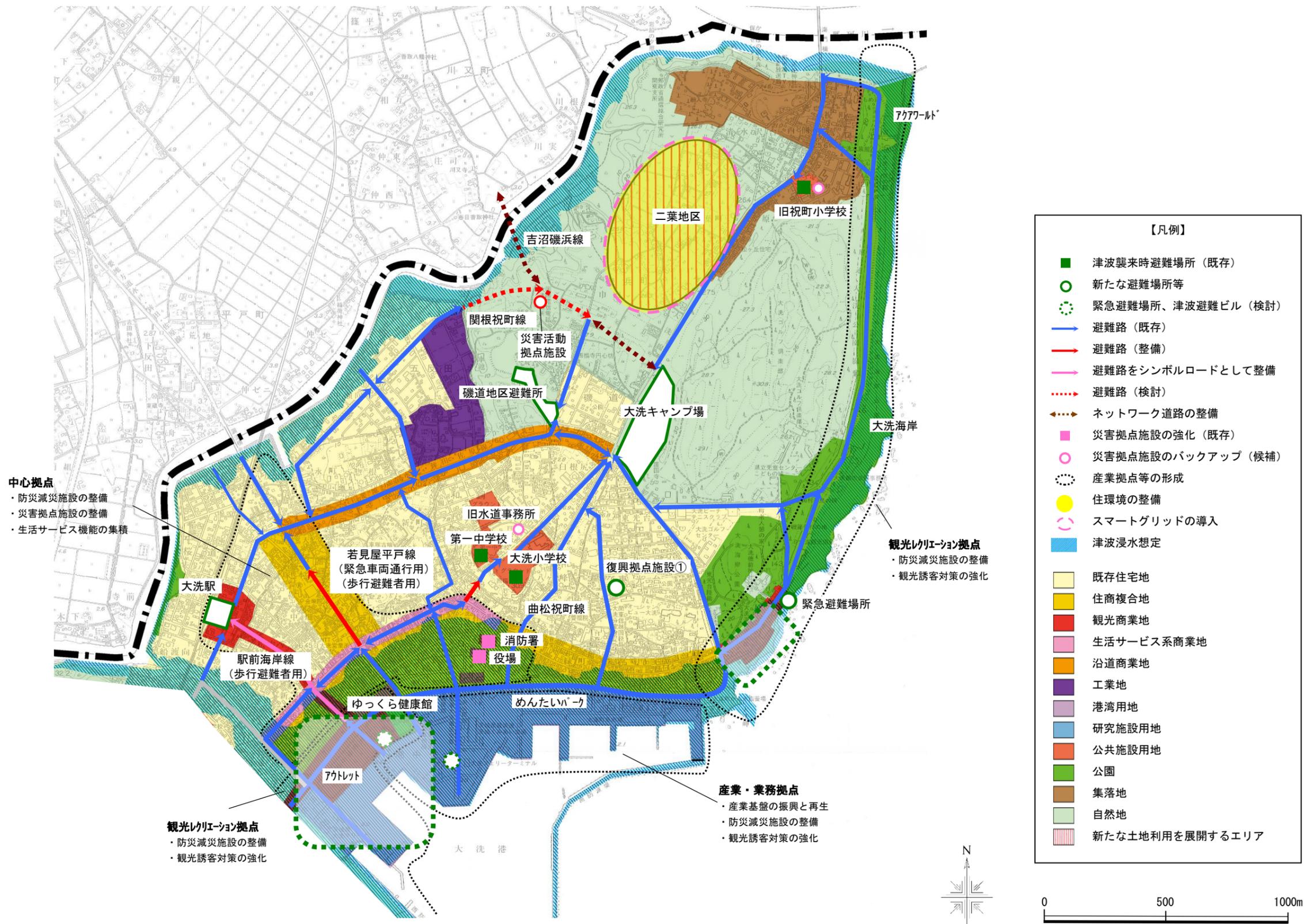
④総合的なまちづくりの方針

■駅前海岸線…避難路をシンボルロードとして整備

■二葉地区（住環境の整備）

- ・自然環境に配慮した拠点の形成（市街化調整区域）
- ・再生可能エネルギー設備を導入するなど、スマートグリッドの構築
- ・地域包括ケアの導入

■磯浜地区の復興まちづくり計画方針図



(2) 大貫地区

①防災減災の方針

■防護ラインの設定 (L1 津波への対応)

- ・サンビーチ海岸…海岸補選施設の整備 (築山等)、既存の堤防及び道路の路体等の活用、県道 2 号沿いの松林の保全
- ・南部海岸…既存の海岸保全施設で対応。県道 2 号沿いの松林の保全

■避難場所の整備

(大貫台地区に一時避難施設)

- ・大洗町総合運動公園は、南中学校から約 4km 離れており、移動手段を含め無理な避難による二次災害のおそれがあるため、大貫台地区に一時避難場所を整備

■避難路の整備

(サンビーチ海岸への対応)

- ・サンビーチ海岸から高台 (バス通り) へ避難する 5 本の避難路のうち、幅員が 10m 以下の 3 本の避難路について拡幅整備

(大貫台地区への避難路)

- ・サンビーチ海岸および船渡地区から、大貫台地区の一時避難場所への避難路を整備
- ・[都] 船渡大洗線は、サンビーチ海岸の中央の避難路および大貫台地区への避難路と接続するように、線形を見直し

■避難誘導サイン、避難誘導灯の整備

■津波避難ビルの指定の検討

(候補)

- ・サンビーチ海岸の賑わい創出ゾーンにおける施設の活用 等

②土地利用の方針

■津波浸水想定区域における適正な土地利用の誘導

- ・津波浸水想定区域については、建物の耐震化等を誘導
- ・特に住宅地については、津波による人的災害を防止するために、高層化を図るなどにより、低層部はなるべく住居としないよう誘導
→居住環境に配慮しつつ、中層のまちなみを形成

■高台等における新たな土地利用の展開

- ・大貫台地区、前原地区において住環境を整備し、移住を促進

③都市機能の方針

■災害拠点施設の整備

- ・大洗海岸病院が災害拠点病院としての機能を発揮できるように、日本赤十字と連携を図り救護体制を整備するとともに、機能的な活動を支援できるようアクセス道路を整備

■産業拠点等の形成

- ・観光レクリエーション拠点（サンビーチ周辺地区）
→防災減災施設の整備、観光誘客対策の強化 等

■ネットワーク道路の整備

（大洗海岸病院へのアクセス道路）

- ・大洗海岸病院と、避難路（整備計画）および国道 51 号とが円滑に接続し、搬送ルートが確保されるよう整備

④総合的なまちづくりの方針

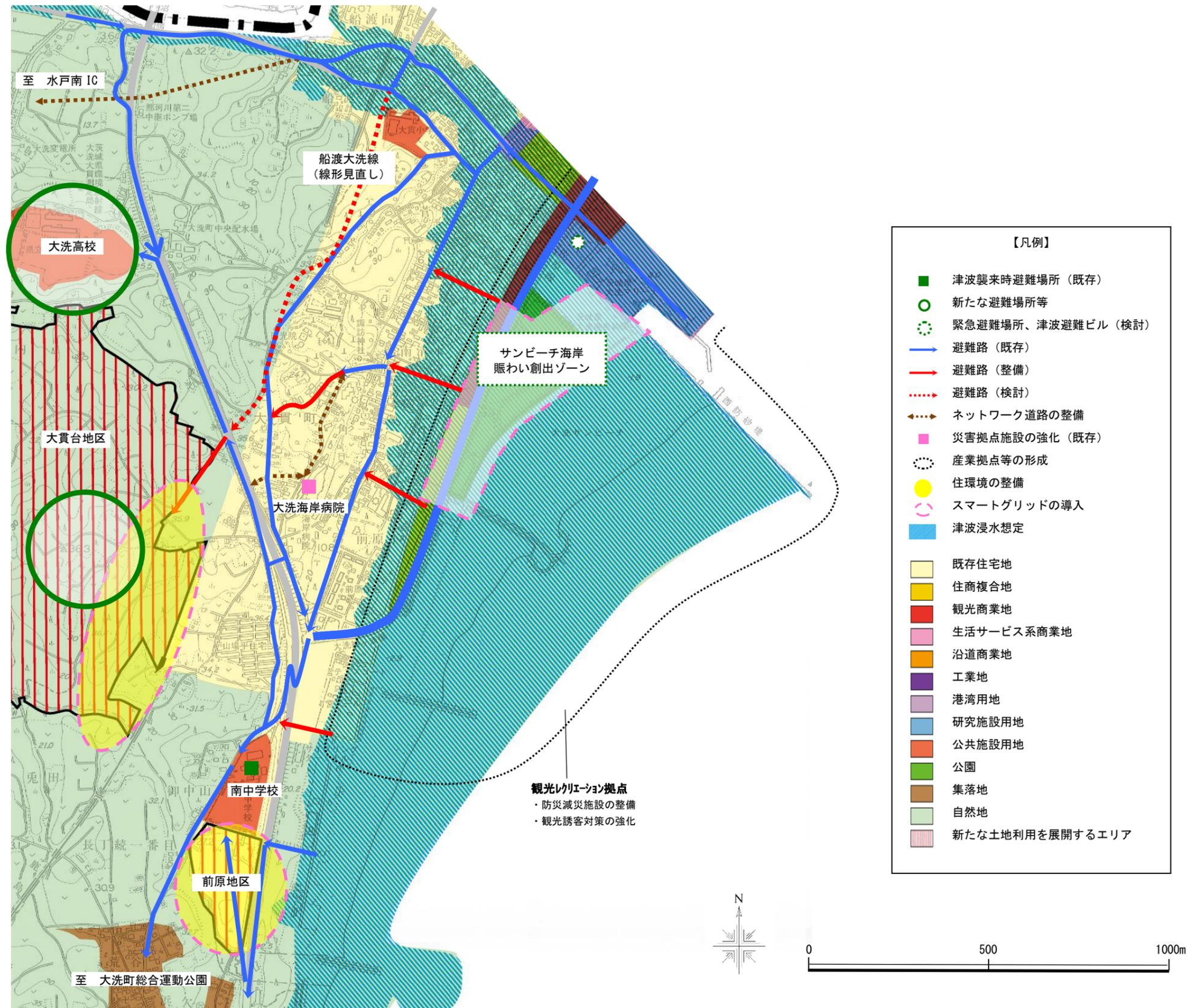
■大貫台地区、前原地区（住環境の整備）

- ・大貫台地区は、自然環境に配慮した拠点を形成（市街化調整区域）
- ・再生可能エネルギー設備を導入するなど、スマートグリッドの構築
- ・地域包括ケアの導入

■サンビーチ海岸の賑わい創出ゾーン

- ・景観に配慮した施設の整備
- ・再生可能エネルギー設備を導入するなど、スマートグリッドの構築
→宿泊施設、商業施設等の整備条件として、スマートグリッドの導入を義務付け 等

■大貫地区の復興まちづくり計画方針図



■参考3：平時と発災時の対応との共存を図ったサイン整備例 ～防災×観光～

観光情報と防災情報とを一つのサインとして示すことで、その両立を図ります。

(上段：高知市の例/下段：長崎市の例)

観光×防災サインの画面

画面サイズ：W2400mm×H1200mm

公益社会法人 日本サインデザイン協会
特定非営利活動法人 防災デザイン研究会
の『津波防災サインのガイドライン』より

高知市観光案内
Kochi City Tour Guide 高知市旅游向导 고치시 관광 가이드

高知市じゃー安心して観光を楽しみ頂けるよう、防災情報を提供しちゃうが。
Kochi City is safe and enjoyable for you, we provide disaster prevention information for you.
저희 도시가 안전하고 관광을 즐기실 수 있도록, 방재 정보를 제공하겠습니다.

みどころ
The Highlight 可觀之處 必見한 곳

ここは津波危険地帯です。
TSUNAMI WARNING!
If an earthquake first, more than one minute, immediately evacuate to higher ground!

200m
津波避難ビル
Tsunami Evacuation Bldg.

避難経路図
Refuge Course

避難経路海拔
Sea Level of Refuge Course

船寄の避難ビルまでの経路表示

この地盤は
The ground of here is
海拔 2m
The height above the sea level 2m

詳細説明

国土交通省の
海拔表示シール
海拔 6m

観光情報
市内のみどころを4ヶ国語で案内します。

観光×防災3Dマップ
高知市の地形が一目でわかる3Dマップを使って、市内のみどころに加え、津波浸水予想区域も明らかにします。

防災情報
災害発生時に、災害弱者が一目みて避難できるような情報を提供します。

充実した観光情報に加え、適切な防災情報を提供することで、地域への信頼度を高めます。

※このようなサインを活用して、東日本大震災の記憶・記録を残し、防災・減災のための意識が薄れないよう工夫する必要があります。

長崎市観光サインご提案 <観光防災サインとは?>

観光 × 防災

lightseeing disaster prevention

適切な防災情報を提供できる3Dマップ観光防災サイン

外国人
外国人
外国人

これらの人たちが旅行中に
もし災害が発生したら?
災害弱者
となってしまう恐れがあります。

適切な防災情報を提供することで
災害弱者に対する配慮が実現します。
充実した観光
を楽しんでもらえます。

★金が見え隠れするマークボックス

★地形がひと目でわかる3Dマップと防災情報

★いたずら書きをはじめ、貼り紙の跡が残らない防汚性の高い印刷「CAPPタフガード」

★シックなアルミ挿物デザインパネル

長崎市観光サインご提案 <観光防災サインの画面プラン>

★3Dマップのデータを使ってサインと連動した案内アプリなどを作成することもできます。

★ユニバーサルデザインの観点から、主要情報は4ヶ国語表記、その他は英語併記とします。

★万一、災害が発生した場合に備え、避難に必要な情報を簡潔にまとめて表示します。

★周辺観光地を3Dマップでわかりやすく紹介します。

★季節のイベントを紹介し、リピーター集客をねらいます。

★防災情報は、視距離5m～20m程度を基準した表示サイズです。

★防犯に必要十分な情報

★防災に対する簡易情報